



JCSS  
JCSS 0107

総数 3 枚の 1 頁

証明書番号

第\*\*\*\*\* - \*\*号

見本

AND

## 校正証明書

依頼者名 \*\*\*\*\*株式会社  
住所 〇〇県〇〇市〇〇  
品名 電子式非自動はかり  
製造者名 株式会社エー・アンド・デイ  
型式 GR-200  
器物番号 \*\*\*\*\*  
校正項目 質量  
校正方法 弊社「はかり校正要領」による（文書番号 ADS-JC2005）  
受付年月日 \*\*\*\*\*年\*\*月\*\*日  
校正年月日 \*\*\*\*\*年\*\*月\*\*日  
校正実施場所 〇〇県〇〇市〇〇  
\*\*\*\*\*株式会社 □□試験室

校正結果は、次項以下のとおりであることを証明します。

\*\*\*\*\*年\*\*月\*\*日

所在地 埼玉県北本市朝日 1 丁目 243 番地  
名称 株式会社エー・アンド・デイ 校正室  
発行責任者  
校正室長 ○○ ○○ 印

- ・この証明書は、計量法第 144 条（第 1 項）に基づくものであり、特定標準器（国家標準）にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。認定シンボルは、校正した結果の国家標準へのトレーサビリティの証拠です。発行機関の書面による承認なしにこの証明書の一部分のみを複製して用いることは禁じられています。
- ・当社は、ISO/IEC 17025:\*\*\*\*（JIS Q 17025:\*\*\*\*）に適合しています。
- ・この証明書は、ILAC（国際試験所認定協力機構）及び APAC（アジア太平洋認定協力機構）の MRA（相互承認）に加盟している IAJapan に認定された校正機関によって発行されています。この校正結果は ILAC/APAC の MRA を通じて、国際的に受け入れ可能です。

**見本**



1. 校正器物の仕様

- 1) ひょう量の種類：単目量
- 2) ひょう量、目量および目量の数：210 g/0.0001 g/2,100,000

2. 校正に使用した分銅

公称値	識別	補正值	拡張不確かさ	証明書番号
50 g	4	+0.002 mg	0.030 mg	134319A
100 g	4	+0.021 mg	0.045 mg	134319A
200 g	4 <sub>1</sub>	+0.013 mg	0.090 mg	134319A

3. 校正時の環境条件

- 1) 温度 22.8 °C～22.9 °C
- 2) 湿度 48.7 %～49.8 %
- 3) 気圧 1022 hPa～1022 hPa

4. 繰返し性 \*試験荷重=200 g

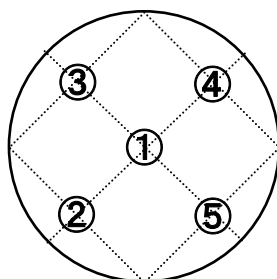
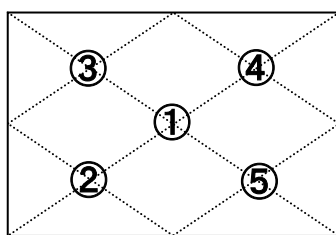
No.	指示値
1	200.0000 g
2	200.0001 g
3	200.0000 g
4	200.0001 g
5	200.0001 g
6	200.0001 g

$s = 0.00005 \text{ g}$

見本

AND

5. 偏置荷重 \*試験荷重=100 g



位置	指示値
①	100.0001 g
②	100.0000 g
③	100.0003 g
④	100.0002 g
⑤	99.9999 g
①との最大差	0.0002 g

6. 正確さ

No. (I)	風袋荷重 (Ti)	荷重 (Wi)	指示値 (Ii)
1	0 g	200 g	200.0001 g
2	0 g	50 g	50.0000 g
3	50 g	50 g	50.0000 g
4	100 g	50 g	50.0001 g
5	150 g	50 g	49.9999 g
6	50 g	50 g	50.0000 g

7. 校正結果

風袋荷重	公称値	偏差	拡張不確かさ	包含係数 k
0 g	200 g	0.00011 g	0.00029 g	2
0 g	50 g	0.00000 g	0.00016 g	2
50 g	50 g	0.00000 g	0.00016 g	2
100 g	50 g	0.00010 g	0.00016 g	2
150 g	50 g	-0.00010 g	0.00016 g	2
50 g	50 g	0.00000 g	0.00016 g	2

備考

- 1). 拡張不確かさは、信頼の水準約 95 %に相当し、包含係数 k は上記の通りである。
- 2). 校正の条件  
前負荷実施 200 g
- 3). 感度調整実施 調整前 : 200.0008 g  
使用分銅 : 200 g (4<sub>1</sub>)

以上